

あすなろ保育園 令和6年度事業報告
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

【一年間の総括】

令和6年度は、変化しつつある保護者のニーズに合わせて行事のあり方や実施方法を検討した一年となった。福島市の出生数は減少を続け、令和6年の出生数は1284名と1000名きるのが目前となっている。しかし、共働き世帯が増え、保育園利用者は増加傾向にある。福島市では、待機児ゼロを目指しているが、年度途中の入所は難しく、育休明けに復帰できないケースが多くある。

土曜日に多く入れている保護者参加の行事だが、土曜日は習い事と重なるため、平日に実施してくれると嬉しいとの希望もあり、今年度は、お泊り保育の日程を金・土曜日にするなど、保護者のニーズに合わせて変えていくようにした。

1 質の高い保育内容と保育活動の展開（保育園の現状）

令和6年度はパリオリンピックが開催され、世界に目を向けパリの文化に触れながら過ごすよう「アスナロード トゥ パリ～ひろげようユトピー～」をテーマとして保育活動を展開した。

(1) 月別入所児童数および充足率（定員 60 名） 令和7年3月31日

単位：人 / %

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
1・2歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
3歳児	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
4歳以上児	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	25	300
合 計	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	744
充 足 率 %	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	103	平均 103

(2) 月別保育日数 令和7年3月31日

単位：日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
日 数	25	24	25	26	26	23	26	24	24	23	22	25	293

(3) グループ別園児数 令和7年3月31日

単位：人

ほーる&へや	ほっとけーきのおへや	ぐりーんほーる		みみずくほーる		ぷりんのおへや		
グループ名	びゅーま	ちーた	しまりす	ぼんび	ぼにー	うさぎ	りす	ことり
年齢	5歳	4歳	3歳	2歳	2歳	1歳	1歳	0歳
男	6	5	7	5	4	3	1	2
女	7	7	7	1	2	2	2	1
合計	13	12	14	6	6	5	3	3

(4) 園児地域別一覧 令和7年3月31日

単位：人

地 域	人数	地 域	人数	地 域	人数	地 域	人数
1. 蓬 萊	18	6. 南向台	2	11. 鳥谷野	1	16. 新浜町	1
2. 松 川	12	7. 清水町	2	12. 小倉寺	1		
3. 黒 岩	7	8. 渡 利	2	13. 永井川	1		
4. 田 沢	6	9. 腰浜町	2	14. 三河南町	1		
5. 伏 拝	3	10. 仁井田	2	15. 荒 井	1	合計	62

蓬萊地区を中心に16の広範囲にわたっている。

<卒園児13名>

蓬萊東小学校：6名／松川小学校：2名／南向台小学校：2名／杉妻小学校：1名
／桃見台小学校：1名／富谷小学校：1名

(5) 延長保育促進事業

①延長保育 朝（6：55～8：00）

単位：延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
323	333	298	318	265	279	304	294	238	246	248	238	3,384

②延長保育 夕（19：00～19：30）

単位：延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	25	25	33	19	24	19	27	17	30	27	20	283

延長保育利用者数は、減少傾向にある。園児が登園する時間帯は8時～9時の間に多く集中している。夕方のお迎えが早く、延長保育利用者（夕）は少なくなり、18時半には全員お迎えがきていることもある。

2 保育環境の整備

- ・松の木伐採工事
- ・園庭ゴムチップの補修
- ・みみずく漏水配管工事
- ・建具や網戸の補修
- ・電話ケーブル配線工事
- ・ウッドデッキ修繕工事
- ・玄関通路ガラス屋根修繕工事

3 食育活動を通しての子どもの健康管理推進

- ・バイキングの再開。
- ・園友会の食農体験「じゃがいも掘り・さつま芋掘り」に参加。
- ・畑で野菜の栽培や稲作などを通して、収穫の喜びや美味しさを味わう。

4 子育て支援拠点事業

(1) 総括

支援センターの利用延べ人数は令和5年度より100人以上増えた。母親が育児休暇中である0～1歳の子の利用が多く、保育士に悩みなどを聞いてもらうことが気持ちの面で支えになっている。1日の利用者の人数制限もなくしたため、友だち同士で誘いあい通う姿がみられた。自分のタイミングで好きな時間に予約なしでこれる「ひろばの日」の利用が増加。自由に来れる気軽さと他の利用者に気を使わなくてもいいことが魅力のようだ。なお、使った玩具は常に消毒し感染対策を継続して行った。また、保育園で感染症が流行している時は利用者に伝え、判断はご家庭に任せるようにした。

(2) 事業の内容

①子育て親子の交流の場（どんぐりクラブ）

担当者のカリキュラムでの活動

②園庭や支援センター“おむらいすのおへや”開放（どんぐりひろば）

③専門の指導者を招聘して「リトミック」を実施。（どんぐりやまセミナー）

④子育て相談（電話・面接） 相談内容はかなり複雑化している。

⑤小さな森の親子勉強会（専門指導員や園内の人材を活かして交通安全教室や音楽教室を実施）

5 一時預かり事業（ちょうちょクラブ）

単位：延人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
5	3	0	2	5	5	0	3	3	1	3	5	35

保育園に入園できない待機児（特に0・1歳児）の利用希望者が多い。

6 放課後児童健全育成事業（とんぼ学童クラブ）

単位：延人数

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
852	812	800	895	669	774	855	768	707	690	641	664	9,127

個別対応の児童が多く、日々丁寧に関わっている。低学年担当教諭を中心に問題傾向の内容を話し合い学校との連携を図っている。毎日利用する年契約は 39 名おり、日割りを含めると 67 名の登録者数となる。低学年が待機児にならないように対応した。

7 家庭・地域・保育園が力を合わせてのネットワーク作り

月 2 回以上の園便り「あすなろっこ」と、支援センター便り「どんぐりひろば」を発行して地域に情報を発信した。地域の小中学校とも連携を深めるために、同様に「とんぼニュース」を学校宛に配布した。

また、養成校の依頼を受入れ、実習等、未来の専門職の育成にも寄与した。

8 インターネットのホームページによる情報の公開

毎月 10 日頃を目安に更新して最新の情報を提供した（アクセス数は現在 32,833 回／昨年度 31,735 回）。